

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オーケストラ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月23日		～ 令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれのニーズや、特性等に応じて専門的な視点からプログラムを組む事ができていること	基本的には担当制を組んでおりますが、お子様の様子はスタッフ間で共有しています。動作分析や行動分析を行いながら、目的動作達成のために段階付けを行いながら関わるようにしています。	診断名は同じでも行動の様子は一人一人違います。できる/できないだけでなく、なぜできないかを言語化し、支援の根拠を説明できるように取り組んでいきます。成長の様子が具体的にわかるように工夫していきます。
2	支援計画に沿った支援プログラムが組まれていること	支援計画に基づきながらも、目標を個々の発達段階に応じて具体的なステップに分解し、当日の様子や特性に応じて柔軟に内容を調整するようにしています。	支援の記録と振り返りを丁寧に行い、次の支援につなげていくようにしたいと思っています。一人一人の興味や強みを生かした活動を取り入れる事で主体的に参加できるように取り組んでいきます。

3	お子様が安心感をもって通所できていること	活動の大きな流れは変えずに見通しを持ちやすいように工夫しています。お子様の様子については、療育中の様子だけでなく、幼稚園や保育園、ご家庭での様子を伺いながらプログラムを組むようにしています。	安心して通所できる事を前提として、小さな変化を受け入れ「変わっても大丈夫」といった成功体験となるように努めていきます。気持ちを汲み取りながら落ち着きやすい方法を一緒に検討していきます。
---	----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者に向けた研修会を開催していないこと	保護者会の研修会の未実施については、日々の支援業務を優先していた事が要因の一つと考えます。保護者のニーズ把握や参加しやすい形式の検討が十分ではないことも影響していると思われます。	事業所に求めているニーズを具体的にできるようにアンケートの取り方を工夫していきます。アンケートの結果をもとに、どのような形で実施していくべきなのか検討を進めていきたいと思えます。
2	きょうだい同士の交流の機会を設けられていないこと	利用児本人への支援が優先される中で人的、時間的な余裕が限られている事が挙げられます。優先順位としては上がりづらいところがありますが、組織としての仕組み作りが十分に整備されておりません。	面談を通してきょうだいとの関わり方や過ごし方についてはアセスメントするようにします。事業所内でスタッフ間で共有する事で、事業所としてどのように関わるとよいのか話し合っていきます。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫が不十分なこと	日々の運営において安定した実施が優先される中で、従来のプログラムに依存しやすい状況があったと思えます。	既存の活動の枠組みを活かしつつ、内容に変化を取り入れる工夫を行うとともに、小さな改善を積み重ねるサイクルを構築していきます。